

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.26)No.	1060	(H.25)No.	1060
-----------	------	-----------	------

事務事業名	個別乳幼児特別支援事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
子ども部	子ども発達支援センター	岡崎 みどり	

会計区分	事業コード	191801
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 民生費	子ども発達支援推進事業	
項 児童福祉費	(小事業名)	
目 児童福祉総務費	個別乳幼児特別支援事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	3	子育て・子ども支援
	小施策	3	地域における子育て支援の充実
重点施策コード	3-2.教育環境の充実(特別支援教育)		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
発達障害の症状の発見後できるだけ早期に発達支援を行うことにより、発達障害者の心理機能の適正な発達および円滑な社会生活の促進を図り、もって発達障害者の福祉の増進に寄与することを目的とします。
事業内容
保健、福祉、教育、保育などの関係機関が情報を共有しながら発達障害児の自立及び社会参加に資するよう専門機関による支援を総合的に実施する個別乳幼児特別支援事業を実施し、就学前の発達障害のある乳幼児の個別支援を行い、就学後の支援に引き継ぎます。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.25年度(事業量・取組実績)	H.26年度(事業量・取組計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)	
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> 運営委員会(4回)、作業部会(9回)の開催 研修会(3回)開催 専門的な個別支援に関わる児童発達支援センターどれみとの連携 	<ul style="list-style-type: none"> 運営委員会、作業部会の開催 研修会開催 専門的な個別支援に関わる児童発達支援センターどれみとの連携 	<ul style="list-style-type: none"> 運営委員会、作業部会の開催 研修会開催 専門的な個別支援に関わる児童発達支援センターどれみとの連携 	<ul style="list-style-type: none"> 運営委員会、作業部会の開催 研修会開催 専門的な個別支援に関わる児童発達支援センターどれみとの連携 	<ul style="list-style-type: none"> 運営委員会、作業部会の開催 研修会開催 専門的な個別支援に関わる児童発達支援センターどれみとの連携 	<ul style="list-style-type: none"> 運営委員会、作業部会の開催 研修会開催 専門的な個別支援に関わる児童発達支援センターどれみとの連携

	H.25年度(決算見込)	H.26年度(作成時予算額)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)
①直接事業費	2,811千円	2,909千円	2,909千円	2,909千円	2,909千円
内 国・県支出金	1,361	1,002			
内 地方債					
内 その他()					
内 一般財源	(0) 1,450	1,907	2,909	2,909	2,909
人工数					
職員	0.59人	0.57人	0.57人	0.57人	0.57人
臨時職員等	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	(0千円) 4,484千円	4,332千円	4,332千円	4,332千円	4,332千円
①+②総事業費	(0千円) 7,295千円	7,241千円	7,241千円	7,241千円	7,241千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.25年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
事業の定着に努めてきましたが、今後は事業推進に伴い培ってきた子どもや保護者への支援実績及び成果を円滑に小中学校に繋げる必要があります。	小学校への円滑な移行に向けての関係機関との連携・調整に努めます。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	当該事業を含めた施策の推進が子育て・子ども支援に係る市民満足度の指標が前年値を超えるものと推測します。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
--	--------

具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由 教育センターと併設した子どもセンターを開設し、0歳から18歳までの子どもの育ちと学びを総合的、継続的にサポートすることができる体制整備を行いました。今後、発達支援の推進に当り、子どもセンターを活用した取組を実施し、名張市内の全ての子ども達が地域や家庭の中で、安心して生活できる「産み育てるにやさしいまち名張」の実現を目指します。
--

6. 事務事業の取組に関する主な市の計画

次世代育成支援行動計画 ばりっすくすく計画
